

指定管理業務評価表

施設名	小牧市第2老人福祉センター（小針の郷）		
対象年度	令和2年度	評価担当部	福祉部
指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
職員体制	常勤職員4人、非常勤職員9人		

1. 利用実績

(1) 利用者数 計33,246人（前年度比 約36%）

前年度利用者数92,718人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0人	0人	0人	4,348人	4,558人	4,302人
10月	11月	12月	1月	2月	3月
4,745人	4,159人	4,170人	1,976人	571人	4,417人

※ 休館期間： 令和元年度は、新型コロナウイルスの影響により、令和2年2月29日から3月31日までを休館。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、令和2年4月1日から6月30日まで、令和3年1月18日から2月21日までを休館。

(2) 増減要因

年間の延べ利用者数は、元年度比で約36%となった。新型コロナウイルス感染防止に伴う施設休館の長期化や、開館時においても利用者自らの自粛、イベント等の開催中止や各室収容定員の制限等、感染防止対策を講じた運営により減少となった。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	令和2年9月14日～9月20日	回答数	217人
	令和3年3月15日～3月21日		189人
利用者の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための入浴、卓球、パソコン、健康機器、トレーニングマシン利用制限を緩和してほしい。 ・浴室、卓球中の会話が気になる。マスク着用を義務化してほしい。 		
具体的な対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、引き続き利用制限することとし、利用者から理解を得られるよう、その旨掲示をする。 ・浴室、卓球中の会話を遠慮してもらう旨を掲示。感染対策の基本としてマスク着用、検温、手指消毒、3密回避、大きな声での会話を遠慮してもらう旨を掲示する。 		

3. 収支の実績

(単位：円)

		元年度 (前年決算額)	2年度 (現年決算額)	3年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収入	指定管理料	68,895,080	60,367,630	69,000,000	
	事業収入	56,218	0	0	
	合計	68,951,298	60,367,630	69,000,000	
支出	人件費	22,595,125	29,777,430	29,082,000	
	報償費	1,527,380	710,473	1,578,000	外部講師に対する謝礼
	旅費	21,304	15,899	40,000	交通費
	需用費	16,163,449	10,536,535	15,164,000	消耗品費・水光熱費等
	役務費	327,438	343,920	329,000	通信運搬費・手数料等
	委託料	13,015,743	9,431,272	13,457,000	送迎費・保守管理費等
	その他	9,469,389	8,342,229	9,350,000	借上料・保険料等
	合計	63,119,828	59,157,758	69,000,000	

4. 評価

項目	市の評価
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康増進、教養の向上及びレクリエーション等、各種相談の場として、供与できる施設の存在を目指し、元気高齢者居場所づくりや、入浴、運動機能回復訓練、文化教室、健康教室への参加と健康・生活相談等のサービスを提供している。
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の点検を確実に行うとともに、報告書を作成して、関係各機関へ提出している。 清掃業務のマニュアル導入による標準化を行い、業務品質の向上に取り組んでいる。
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 玄関入口等に季節ごとの飾り付け（ハロウィン、クリスマス等）や、漢字クイズのスタンプラリーを実施し、利用者の増加につながるよう工夫されている。 コロナ禍において外出する機会が減少している高齢者に対し、健康の保持が懸念されることから外出するきっかけづくりを目的として、11月から3月までの各月一回、演芸ショーや落語等を開催した。
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートや日常における利用者の意見などにより、ニーズを把握し、サービスの質の向上に努めている。 職員が午前、午後館内を回りながら、利用者とのコミュニケーションに努めている。
収支状況及び経費節減	<ul style="list-style-type: none"> 業務の再委託については複数社による見積を行い、経費削減に取り組んでいる。
その他 (緊急時の対応等)	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練及び消火訓練は、年二回実施している。 緊急対応時の対策として、消防署から出向して頂き、救急救命講習を受講した。具体的には、心臓マッサージ法、AED使用方法等を学び訓練を行った。 コロナの感染防止対策（職員のマスクの着用、アルコールによる消毒の徹底、定期的な空気の入替等）が実施されている。